



CORPORATE OVERVIEW 2021

武田薬品工業株式会社 会社概要 2021

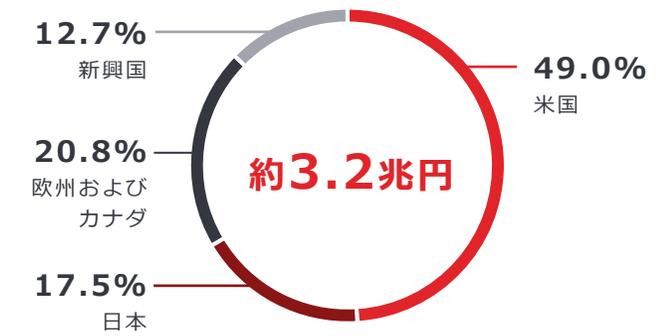


Better Health, Brighter Future

サイエンスに基づき患者さんを中心に研究開発を行う
バリュー（価値観）を根幹としたグローバルなバイオ医薬品企業



2020年度売上収益



従業員



2021年6月時点

TOP EMPLOYER® 認定

38 の国・4地域
2021年1月末時点



グローバル拠点

約80 の国・地域
2021年3月時点

研究開発費

約4,500~5,000億円
2021年度見込み

私たちの存在意義

世界中の人々の健康と、輝かしい未来に貢献する

私たちが目指す未来

すべての患者さんのために、ともに働く仲間のために、いのちを育む地球のために。
私たちはこの約束を胸に、革新的な医薬品を創出し続けます。

私たちの価値観: タケダイズム

タケダイズムとは、まず**誠実**であること。それは**公正・正直・不屈**の精神で支えられた、私たちが大切にしている価値観です。
私たちはこれを道しるべとしながら、「1. 患者さんに寄り添い (**Patient**)
2. 人々と信頼関係を築き (**Trust**) 3. 社会的評価を向上させ (**Reputation**)
4. 事業を発展させる (**Business**)」を日々の行動指針とします。

私たちの約束

PATIENT

すべての患者さんのために

- 私たちは、倫理観をもってサイエンスの革新性を追求します。そして、人々の暮らしを豊かにする医薬品の創出に取り組みます。

- 私たちの医薬品を、より多くの人々に迅速にお届けします。

PEOPLE

ともに働く
仲間のために

- 私たちは、理想的な働き方を実現します。

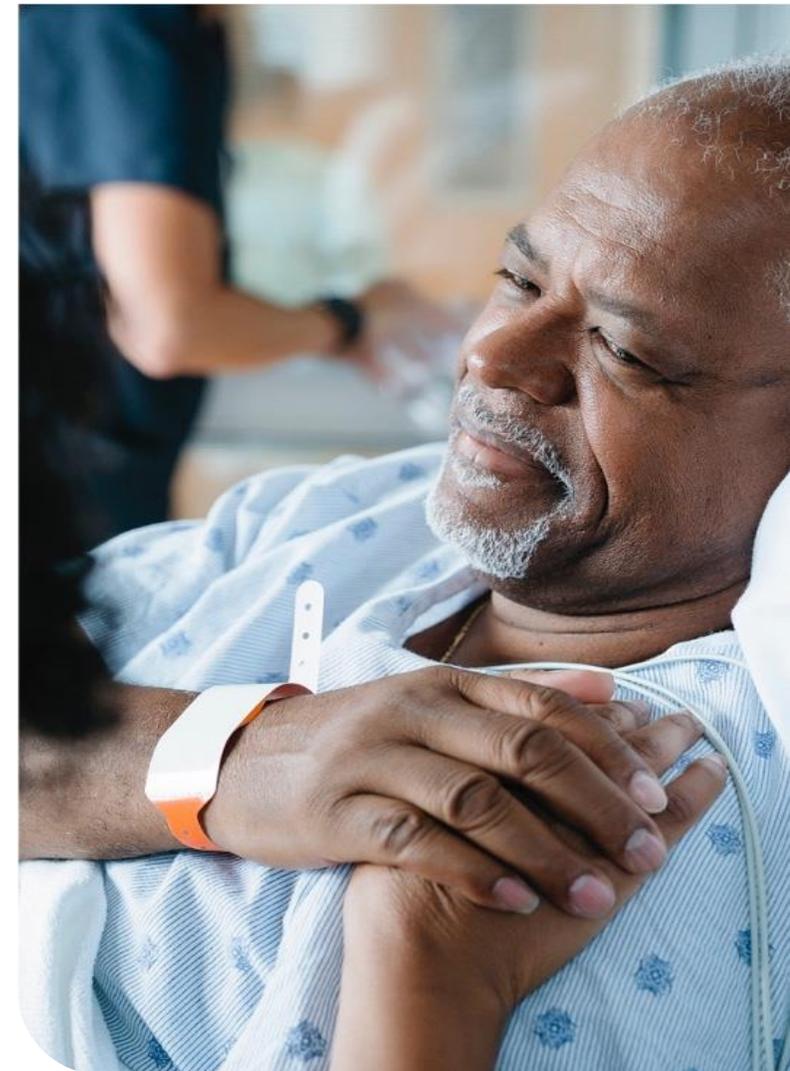
PLANET

いのちを育む
地球のために

- 私たちは、自然環境の保全に寄与します。

データとデジタルの力で、イノベーションを起こします

- データを活用して導き出された成果をもとに、もっとも信頼されるバイオ医薬品企業として、これからも変革し続けます。



HOW CAN WE DO **MORE** FOR **PATIENTS?**

患者さんのために
これまで以上に何ができるか？

01

HERITAGE
伝統



02

GOVERNANCE
ガバナンス



03

INNOVATION
革新性



04

PURPOSE-LED
SUSTAINABILITY
サステナビリティ

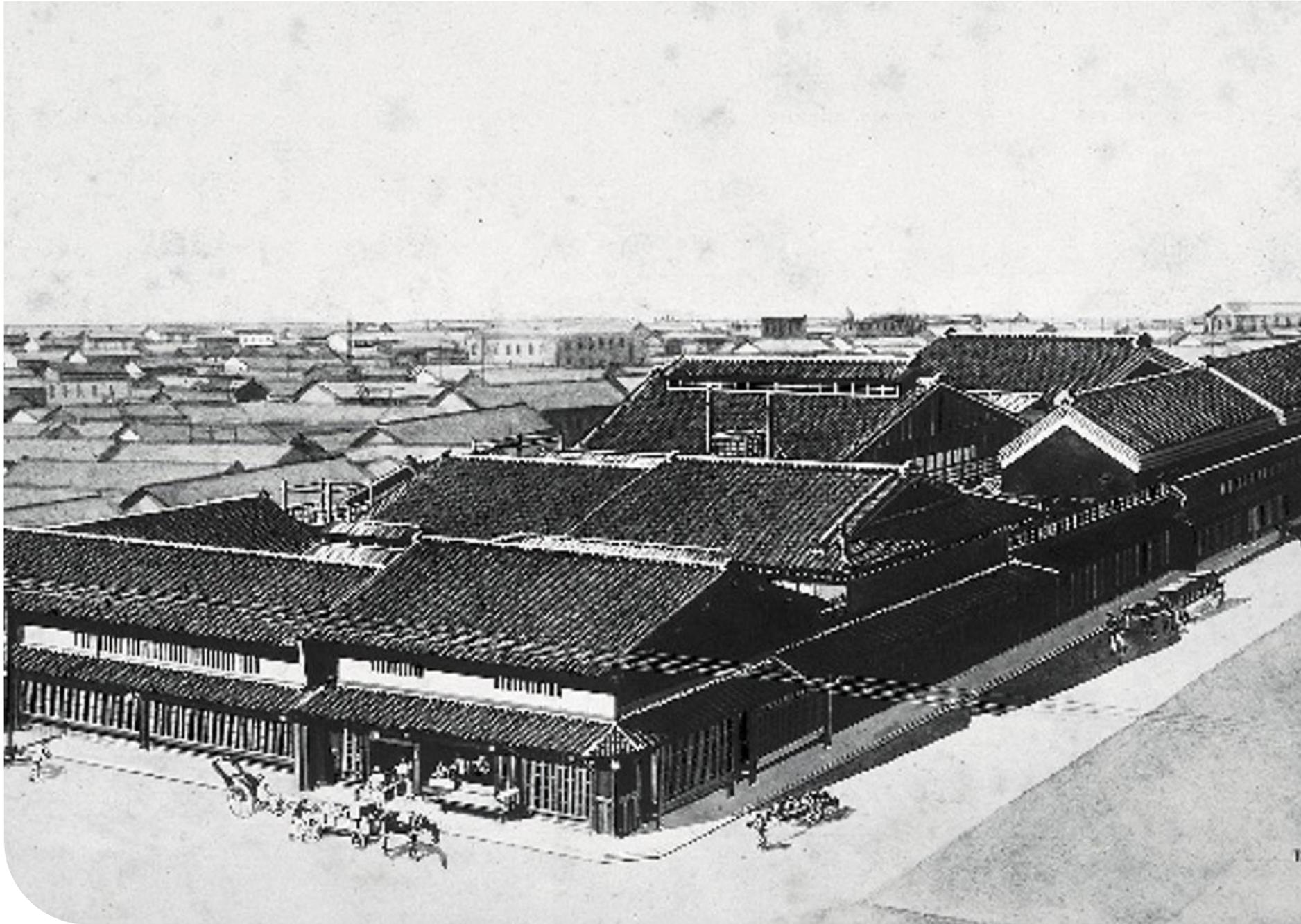


01

Heritage 伝統

タケダの創業の地である大阪・道修町は、江戸時代には日本の薬種取引の中心地となっていました。

現在も数々の製薬企業が本社や拠点を置く「くすりのまち」として知られています。



タケダの歴史 1781年～1979年



FOR BUSINESS

1781

COMPANY FOUNDED
初代近江屋長兵衛が大坂で薬種仲買商を始め、高品質の薬を提供

1895

PRODUCTION
自社工場で製薬事業を開始

1915

OSAKA FACTORY
大阪工場の前身である武田製薬所を開設

1943

COMPANY NAME
社名を現在の武田薬品工業に変更

1949

INITIAL PUBLIC OFFERING
株式を上場
株式公開企業に

1951

INTERNATIONAL BUSINESS
北中米、アジアを皮切りに海外市場に本格参入

1871

INTERNATIONAL TRADE
洋薬（西洋医薬品）の輸入を開始

1914

PROPRIETARY RESEARCH
研究部を設立
自社で研究活動を開始

1940

"NORI" PRINCIPLES
タケダイズムの礎となる「規（のり）」を制定

1946

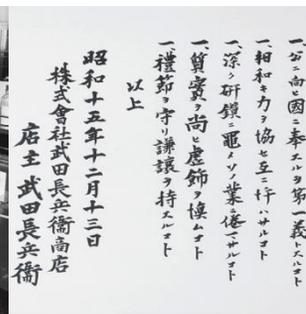
HIKARI FACTORY
山口県 光工場を開設

1950s

PANVITAN® & ALINAMIN®
日本初の総合ビタミン剤およびビタミンB1誘導体製剤を発売

1961

COMPANY LOGO
輸出向け商標として「抱き山タケダ」を使用開始



FOR SOCIETY

1933

TAKEDA GARDEN
「京都薬用植物園」を開設し世界各地の薬用・有用植物を収集・活用

1960

SHOSHISHA FOUNDATION
優秀な学生を支援し将来の社会に貢献できるよう、育英事業を目的とする「尚志社」を設立

1963

TAKEDA SCIENCE FOUNDATION
有望な研究および科学技術の助成振興のため「武田科学振興財団」を設立

タケダの歴史 1980年～現在



FOR BUSINESS

1980s & 90s

EXPANSION OF INTERNATIONAL BUSINESS

4つの国際戦略製品
「リュープロレリン」、
「ランソプラゾール」、
「カンデサルタン」、
「ピオグリタゾン」により
グローバル事業の拡大が加速

2008

MILLENNIUM PHARMACEUTICALS

米国のバイオベンチャー
であるミレニアム社を買
収し、がん領域を強化

2011

NYCOMED ACQUISITION

新興国に強い販路を持つ
ナイコメッド社を統合し、
事業基盤を70カ国以上に拡大

2014

VEDOLIZUMAB

潰瘍性大腸炎・クローン病治療薬
「ベドリズムブ」を米国および
欧州で発売

2015

IXAZOMIB

多発性骨髄腫治療薬
「イキサゾミブ」米国で発売

2018

NEW YORK STOCK EXCHANGE LISTING

ニューヨーク株式市場への上場により、
ニューヨーク証券取引所と東京証券取引所の
双方に上場されている唯一の医薬品企業に

SHONAN HEALTH INNOVATION PARK

湘南にヘルスイノベーションを加速する
iPark をグランドオープン

TAKEDA GLOBAL HEADQUARTERS

武田グローバル本社をグランドオープン、
多様性に富む従業員がオープンにつながり、
ともにイノベーションに取り組む拠点へ

2019

SHIRE ACQUISITION

シャイアー社の買収により、
事業拠点は約80の国・地域に
拡大し、グローバルな研究
開発型バイオ医薬品の
リーディングカンパニーへ



FOR SOCIETY

2009

UNITED NATIONS GLOBAL COMPACT

「国連グローバル・
コンパクト」に参加

2010

TAKEDA INITIATIVE

アフリカの保健医療人材の育
成を支援する
「タケダ・イニシアティブ」
を開始

2016

ACCESS TO MEDICINES

医薬品アクセスに関する取り組みを開発国を
中心に開始

GLOBAL CSR PROGRAM

疾病予防に重点を置いた支援活動「グローバ
ルCSRプログラム」を開始。

2019

TAKEDA INITIATIVE 2

母子を対象にHIV・結核・
マラリアの対策を支援する
「タケダ・イニシアティブ2」
を開始

02

Governance ガバナンス

強力で迅速なコーポレートガバナンスを基盤に、従業員が能力を十分に発揮して先進的な発見を追い求め、患者さんやステークホルダーのニーズに対応することができます。



タケダ・エグゼクティブ・チーム



国籍・年齢・性別において多様性に富み、それぞれの領域において豊富な経験を持つタケダ・エグゼクティブ・チームが、迅速で透明性の高い意思決定を行っています。

日本



クリストフ・ウェバー
代表取締役社長 CEO



コスタ・サルウコス
取締役、チーフ フィナンシャル
オフィサー



岩崎 真人
代表取締役
日本管掌



古田 未来乃
ジャパンファーマ
ビジネスユニット
プレジデント



中川 仁敬
グローバル ジェネラル
カウンセラー



大薮 貴子
チーフ グローバル
コーポレート アフェアーズ
オフィサー



佐藤 弘毅
コーポレートストラテジー
オフィサー &
チーフ オブ スタッフ

米国



アンドリュー・ブランブ
取締役、リサーチ&
デベロップメント
プレジデント



マルチェロ・アゴスティ
グローバル
ビジネスデベロップメント
オフィサー



テレサ・ビテッティ
グローバルオンコロジー
ビジネスユニット
プレジデント



ローレン・デュブレイ
チーフ HR オフィサー



ジェラード・グレコ
グローバル クオリティ
オフィサー



ジュリー・キム
プラズマ デライブド
セラピーズ ビジネスユニット
プレジデント



ラモナ・セケイラ
U.S. ビジネスユニット
プレジデント & グローバル
ポートフォリオ コマーシャライ
ゼーション プレジデント



ラジーヴ・ヴェンカヤ
グローバル ワクチン
ビジネスユニット
プレジデント

スイス



**ジャイルズ・
プラットフォード**
EUCAN ビジネスユニット
プレジデント



ムワナ・ルゴゴ
チーフ エシックス &
コンプライアンス
オフィサー



トーマス・ウォスニフスキー
グローバル
マニュファクチャリング &
サプライ オフィサー

シンガポール



リカルド・マレック
グローブ&エマージング
マーケットビジネスユニット
プレジデント

取締役体制



タケダはベスト・イン・クラスのガバナンスを有しています。16名の取締役は様々な分野におけるグローバルでの経験を持ち、うち12名は社外取締役です。

社内取締役



クリストフ・ウェバー
代表取締役社長
チーフ エグゼクティブ
オフィサー



岩崎 真人
代表取締役
日本管掌



アンドリュー・ブランブ
取締役、リサーチ&
デベロップメント プレジデント



コスタ・サルウコス
取締役、チーフ
フィナンシャル オフィサー

CB 取締役会議長

A&SC 監査等委員会

NC 指名委員会²

CC 報酬委員会

独立社外取締役¹



坂根 正弘
独立社外取締役
取締役会議長
指名委員会委員長



オリビエ・ポユオン
独立社外取締役



ジャン=リュック・プテル
独立社外取締役



イアン・クラーク
独立社外取締役



藤森 義明
独立社外取締役



スティーブン・ギリス
独立社外取締役



国谷 史朗
独立社外取締役



志賀 俊之
独立社外取締役



初川 浩司
独立社外取締役
監査等委員長



東 恵美子
独立社外取締役
報酬委員会委員長



ミシェル・オーシンガー
独立社外取締役



飯島 彰己
独立社外取締役

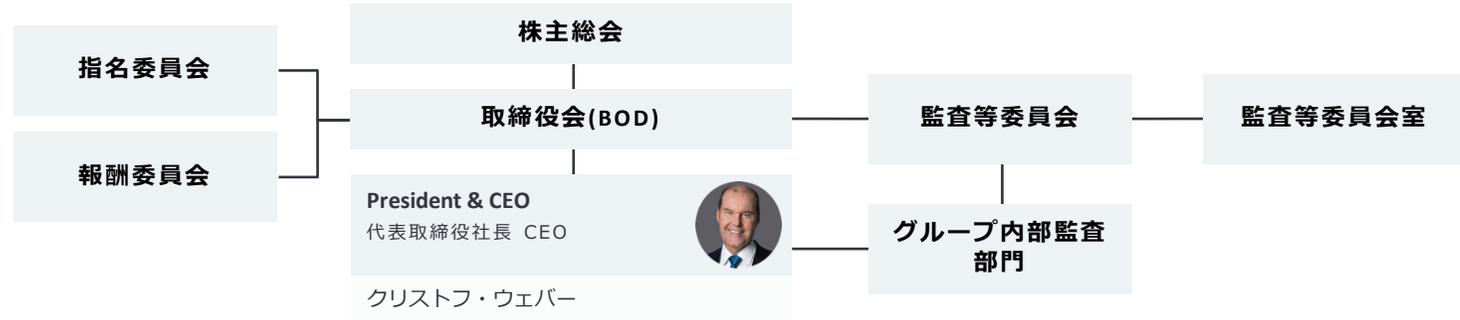
1. 東京証券取引所等の当社が上場している金融商品取引所の独立役員要件を満たしています

2. クリストフ・ウェバーがオブザーバーとして参加

グローバル組織体制



機動的でシンプルな組織により、各分野のリーダーが自ら判断し、患者さんのニーズに最も適した行動をとれるようになっていきます。



03

Innovation 革新性

タケダのR&Dは、イノベーションの創出を使命として、研究所から世界中の患者さんに革新的な医薬品をお届けすることを目指し、創薬の研究開発に取り組んでいます。



研究開発の重点領域



タケダの研究開発では、4つの疾患領域と2つの分野に注力し、常に患者さんを中心に考えるサイエンス・ファーストの取り組みを進めています。

革新的なバイオファーマ



オンコロジー



希少遺伝子疾患
および血液疾患



ニューロサイエンス



消化器系疾患



血漿分画製剤



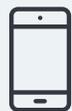
ワクチン



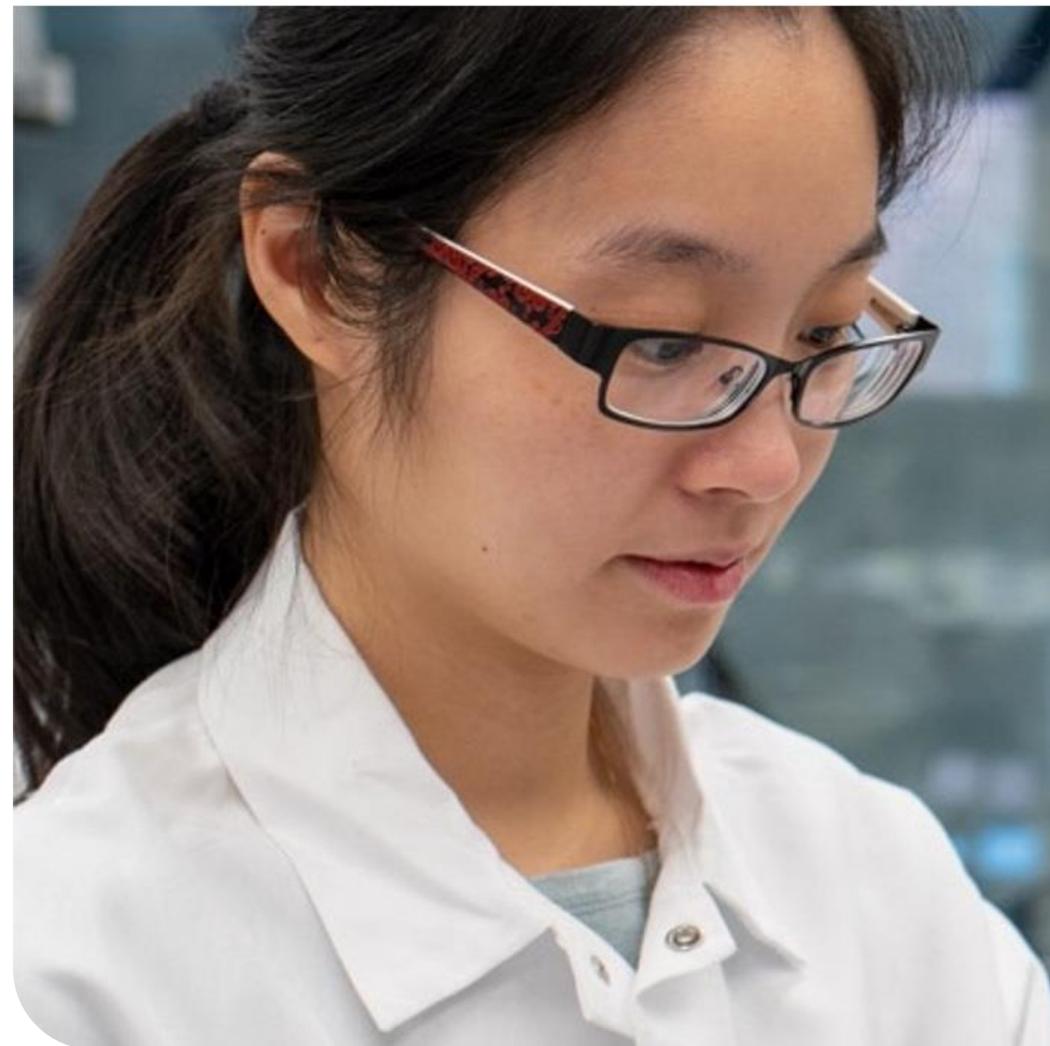
細胞療法



遺伝子治療



データサイエンス



研究開発パイプラインの詳細を見る ([TAKEDA.COM](https://www.takeda.com))

革新的なR&Dエンジンと先進的なパートナーシップモデル



高度化する医療に対応する研究開発能力のさらなる向上と同時に、積極的なパートナーシップを通じて世界中の革新的な研究開発活動に参画しています。患者さんのアンメットメディカルニーズが高い疾患を対象を絞り込み、高度に画期的で治癒をもたらさうる治療法の提供を目指します。

研究開発費



約4,500~
5,000億円

2021年度見込み

多様なモダリティ (創薬手法)



- 低分子化合物
- 生物学的製剤
- 細胞療法・遺伝子治療
- 腸内細菌・その他代謝物
- ペプチド・オリゴヌクレオチド

積極的な パートナーシップ



200以上

新規作用機序を含む 堅固なパイプライン



約40 臨床試験段階にある
新規候補薬物

約50% オーフアンドラッグ
(希少疾病用医薬品)
指定を受けたパイプライン*

*2018年のオーファンドラッグ指定は15品目であったのに対し、2019年は31品目 (Ph1~ライフサイクルマネジメント段階にある品目のうち、1適応症以上のオーファンドラッグ指定を受けたもの)

ビジネスポートフォリオ



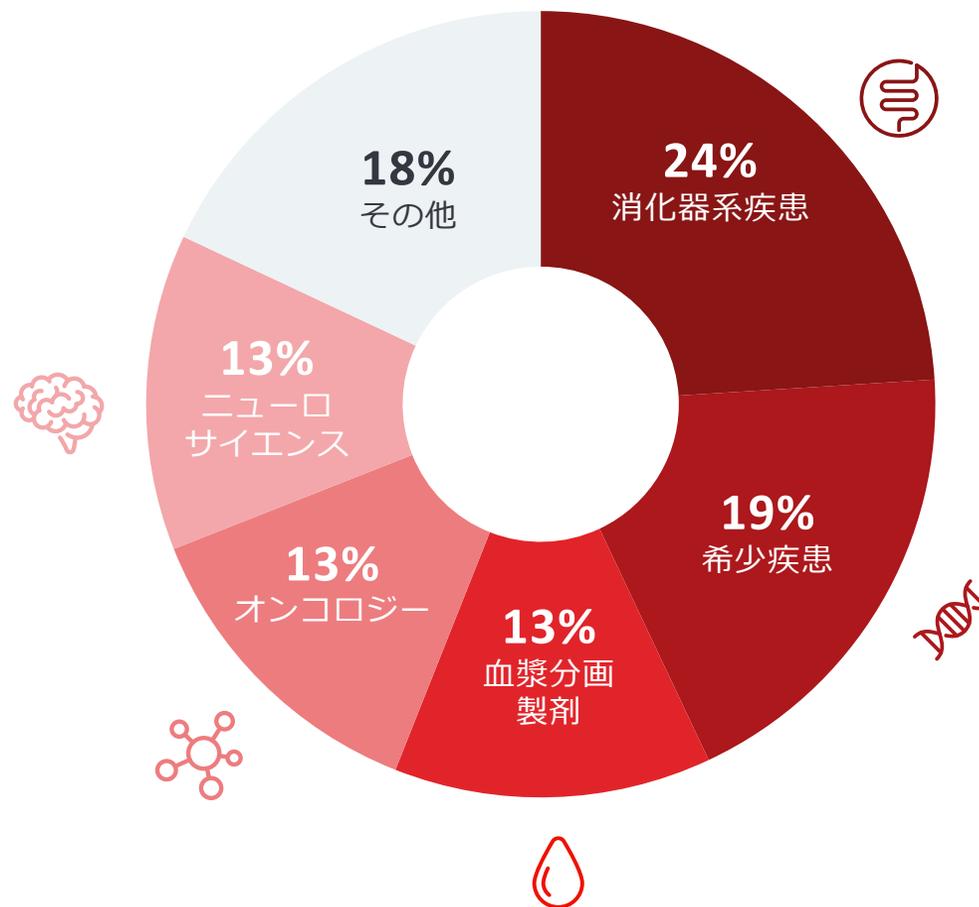
患者さんの生活を一変させうる革新的な医薬品が、主要ビジネスエリアにバランスよく分散され、タケダのさらなる成長を牽引しています。

5 主要ビジネス
エリア

14 グローバル
ブランド

約80% 売上収益に占める
主要ビジネスの割合

売上における比率*



*2020年4月～2021年3月の売上収益における比率

04

Purpose-led Sustainability サステナビリティ

社会の課題や価値を提供する取り組み
はすべて、サステナビリティに対する
考え方に基づいています。



私たちの存在意義を果たすためのサステナビリティ



タケダでは、先端技術を結集した「強み」と「能力」を活かした社会的価値の創造に取り組んでいます。人々から開発が待たれている医薬品の創出、持続可能な医療システムの確立、自然環境の保全、これらを通じて社会の重要な課題の解決に貢献するとともに、一人ひとりが自分の可能性を引き出し、おたがいの個性を認め合う、多様性にあ

ふれた先進的な組織づくりを進めています。私たちは、自らの存在意義、目指す未来、価値観であるタケダイズムを企業理念とし、従業員一人ひとりの総力を結集しながら社会的価値の創造を目指すこのアプローチを「私たちの存在意義を果たすためのサステナビリティ戦略」と呼んでいます。

私たちの長期的なコミットメントは、
持続可能な開発目標に沿ったものです

3 すべての人に
健康と福祉を



あらゆる年齢のすべての人の
健康的な生活を確保し、
福祉を推進する

外部評価の実績



MSCI JAPAN
EMPOWERING WOMEN INDEX (WIN)

すべての患者さんのために 世界中の患者さんの医薬品へのアクセス向上をめざして



タケダの医薬品アクセス (AtM) プログラムでは、世界で医療サービスが十分でない地域で、希少疾患や複雑な疾患をもつ患者さんなど、多くの患者さんの生活が向上する取り組みを続けています。

治療プロセスにおけるすべての段階（疾患の認知、診断、治療、その後のサポート）において、さまざまなパートナーとともに持続可能性が高く対象を絞った方法をとることで、医療制度の強化に取り組めます。



「ブループリント」は、タケダの医薬品アクセスプログラムを代表する事例で、ケニアのメルー郡で試験的に実施された際には、約**13,000人の患者さん**を対象に、がん、糖尿病、高血圧のスクリーニング検査を**46,000件以上**実施しました。



110万人以上の患者さんのがん、高血圧、糖尿病のスクリーニングを医療機関でサポートしました。



4,000人以上の医療従事者およびコミュニティ・ヘルス・ワーカーが、より良い患者ケアを提供するためのトレーニングを受けました。



52の国と地域で、患者さんに焦点を当てたアクセスプログラムを実施しました。



2021年のAccess to Medicine Indexでは、**総合第6位**、さらに「医薬品アクセスに対するガバナンス (Governance of Access)」のカテゴリーにおいては**首位**を獲得。外部の高い評価を受け業界をリードしています。

ともに働く仲間のために



タケダの従業員は、「世界中の人々の健康と、輝かしい未来に貢献する」という私たちの存在意義に共感して入社しました。この存在意義を実現し続けるため、今後も有能で多様な人材を惹きつけ、育て、成長させなければなりません。現在、世界約80カ国で働く当社従業員は、それぞれ目標を持って経験を積んでいます。タケダの目指す未来に向けて従業員が成長し成功するためには、健康と福祉へのコミットメントに根ざした、一体感のある、安全かつ活力を生み出す職場環境の整備が重要です。



2021年、タケダは4年連続で「Global Top Employer」に選出されました。



いのちを育む地球のために



タケダは、気候変動の影響を軽減・防止するために意欲的にさまざまな活動を行っています。温室効果ガスの排出量削減などの取り組みを通じて、2040年までにバリューチェーン全体でカーボンニュートラルを達成することを目標として掲げています。

BY 2020



バリューチェーン全体での**カーボンニュートラル**の達成と維持

BY 2024



サプライヤーの67%が、科学的根拠に基づいた削減目標を設定

BY 2025



事業活動に起因する温室効果ガス排出量を2016年度比で**40%削減**

BY 2040



事業活動に起因する温室効果ガスの排出量を**100%削減**

私たちの事業活動におけるカーボンゼロの実現を目指します。



サプライヤーからの排出量を2018年度比で**15%削減**



サプライヤーからの排出量を2018年度比で**50%削減**

持続可能な未来に向けた戦略的な取り組み

グローバルCSRを通じて、疾病予防の飛躍的な進歩、想定外の事態に対処できる強固な医療システムの構築、そして誰もが等しく医療を受けられる環境を整えることで、人々が病気から解放される、より良い世界を築くことを目指しています。

GLOBAL CSR PROGRAM

20

グローバルCSR
プログラム



毎年、従業員による投票で
プログラムを決定

72

国・地域で活動

165億円

2016年度から2021年度
までの合計寄付金額

グローバルCSRパートナー
多国籍でアカデミックな団体と協働



グローバルCSRプログラムの詳細を見る (TAKEDA.COM) [🔗](#)



©City Cancer Challenge



©WFP/Jama Hassan



©John Rae/ UNOPS-Access to Health Fund



製品情報に関する注意事項

本会社案内には、武田薬品の製品についての情報が含まれていますがそれらの製品は、すべての国で発売されているものではなく、また国によって異なる商標、効能、用量などで販売されている場合もあります。また、本会社案内に記載されている医薬品(開発品を含む)の情報は、そのような製品を宣伝・広告するものではありません。会社案内に記載されている製品に関する情報は、医学的アドバイスの提供を目的とするものではなく、決して、医師その他医療従事者によるアドバイスの代わりになるものではありません。

発行月: 2021年10月
発行元: グローバルコーポレートアフェアーズ



詳細はウェブサイトをご覧ください
www.takeda.com/jp

武田グローバル本社の空間デザインについて

クリエイティブディレクター佐藤可士和氏による空間デザインコンセプトは、人間の「life force : 生きる力」。このコンセプトは、8つの漢字を用いたアートワークにあらわされ、ビルのいたるところに配置されています。

